

五分館だより

第10号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日
H2.8.1現在
戸数 83戸
人口 425人

天神公園 整備を進めよう

研究委員会 経過内容を発表

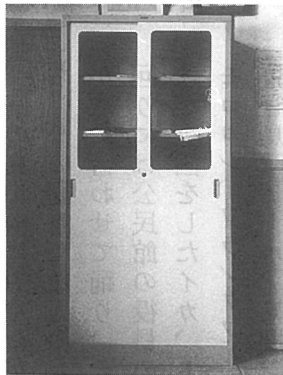
4月より発足しこれまで数回の話し合いの中で出された意見・提案を分科会長にまとめてもらい、第1回の報告の場となりました。委員だけにとどまらず、区民全体のものになるよう、これらについて皆さんも考えてみて下さい。

『環境、文化』の分科会ではこれ迄二回に亘り研究委員会を行ない、それぞれ堀越の将来と活性化について御意見・発想等出してもらいましたので集約して御報告致します。

一、茸観光事業について
現在区委員の者が主体で運営に当たっているが、大変な負担となっており、将来は観光運営委員の専任化と第三セクター方式をとったかどうか。又、観光委員及

知識の 交流の場に

大広間に書棚



有効に利用を

区民会館の大広間に、新しい書棚が置いてあります。この書棚には区で購入している「林業だより」等の冊子が入っていて区民の皆さんがいつでも自由に利用できます。また区民の皆さんに見てもらいたい

書籍等ありましたら書棚に入れて頂き、区民同士の知識の交流が出来ればと思っています。
この書棚は五月六日から利用できますので、機会があったら見に来て下さい。

『区政の研究』の分科会は、区政と祭典の関係を担当進めています。
先ず堀越区が今日迄歩んだ経過を、メンバーの一人である元区長の日下部さん

折に触れ アドバイスを

を中心にして話し合いを進め、区の仕事に付いて過去から現在迄の経過を理解した上で、今後の区政を研究して行くと言う事を出発しました。

- 炊事係の手当の増額支給、茸観光内容面の充実と施設改善。
- 一、堀越の活性化について
若い皆さんのアンケート調査について
堀越の将来と活性化について若い人達(十五才〜二十五才)を対象にアンケート調査をし、どの様な考えを持っているか意向調査する。
- 一、天神公園周辺の環境整備と美化について
四季を通じての観光面での開発整備(樹木の植栽、遊歩道、展望台、駐車場、マレットゴルフ)
- 一、環境整備について
近年堀越大井の汚れが著しく、この原因究明と水質検査等、村及び保健所等へ依頼して今後これらの対策をすべきである。
- 又、現在村で行っている家庭浄化槽を普及推進し、雑排水対策を講ずる。
- 一、祭典の在り方について
研究を要するお祭り、青年との練習、祭の一括化及び簡素化。
- 一、砂防ダム完成後の観光開発と利用について
完成後、観光面で開発、キャンプ場等に活用してはどうか。
- 一、高鳥谷神社に学問の神様を祭ってはどうか。又、周辺を観光面での開発もどうか。
- 一、主要道路の環境美化について
堀越の宣伝と併せてブロック塀に絵を描く等して美化運動を推進する。
- 区の封建的な考え方を打破して体質改善を計るべきである。

分科会長 武田 久

年間を通じて 観光客の誘致を

- 『観光と産業』の分科会は、十一名構成で研究している。その内容を簡単に紹介してみます。
- 堀越が二十一世紀にかけてどの様に故郷づくりをするのか、松茸観光を他の観光と結びつけるか、一ヶ月余の期間を現在の施設で区民総参加を目標により運営されているか、今後の方向について。茸観光の運営は茸観光特別運営委員会(仮称)を設け運営する。これも一つの方法であろう。
- いろいろの発想御意見で春は花見、夏は鴻垣外のダム湖周辺にキャンプ場、魚のつかみ取り、秋は紅葉と松茸の賞味、これに出来れば民宿はどうか。キャンプ場の整備については、現在の改良について
- 八、天神公園に有線設置の件と取付道路等に付いて
- 九、財産取得に付いて
- 十、人口問題と今後について
- 十一、水道資源の今後の取組
- 以上経過を簡単に申し上げましたが、特に区民の皆様からも折に触れアドバイスを戴ければ幸いですので宜しく御願います。
- 分科会長 越野 繁男
- 施行中のダム工事に伴う電気的施設を利用し設置する。ログハウスにテニスコート等を設置し、清流と涼気を満喫してもらおう。尚ダムの水利用も一考を要する。
- 観光客の誘致により当地区のりんごもぎ取り、又栽培体験学習を取り入れてはどうか。現在の系統販売では先が見えて手取りも少ない。加えて栽培者が高齢化をたどり、労力軽減を計る事も発想の転換ではないか。
- 数回の研究で数多く出された問題点を分科会の人達ばかりでなく、区民皆様の御意見も多く拝聴出来、よりよい発想の中で今後のマスタープランが出来るのを望んでいます。
- 分科会副会長 武田 幸義

堀越めぐり

地域を知り 歴史を知る一日 サフォークの焼肉で体力もつける

青天の8月12日、堀越めぐりが行なわれ、堀越のふだん訪れない所を見学し、この地の再発見をした一日でした。最後に豊丘の秘境、大乘坊で味わったサフォークの焼肉のうまかった事！

休日、いい天気、こんな日は野外に出るのがいいに決まってる。
夏の太陽の眩しさに目を細めながら、谷をわたる風に吹かれる。
日頃用事がない為、知らない、あるいは立寄った事のない地籍を訪れ、自然の中で語り、相互の親睦を深め、子供達にも地域の一員



それは私の肉ヨ！

青木が沢の、ダム工事現場の新しく出来た取付道路より、区長さんからダム工事の話しを聞き、早ければ三年後に完成とのこと。
このダムが完成された後の利用について、思いをはせてみました。
青、赤、黄色のバンガローが点在し、その中央に澄みきった冷い芦部川の清流が

完成後のダムを 有効利用

ダムに注いでいます。



未完成のダムに思いをはせる

ダムの色は青く、ゴムボートの上からは岩魚や、やまめの泳ぐ姿が見られ、釣り人の多くは、この豊かな自然に釣られることを望んでいるかのようです。
夕方になると、キャンプファイヤーの火が赤々と周囲を照らし、テントの中からはギターの音が聞こえ、若者達の弾んだ声が実に楽しそうです。又、隣りのバンガローからは、中年の男達がサフォークの焼肉をしながら、この肉は天皇家の

晩餐会専用のもので、いくら食べても太らず、この味は最高であるなどと勝手なことを言いながらビールを酌みかわし、その合間にはどこかで聞いたような歌を大声で歌い、いつの間にか夜は更けて行きました。
以上、夢で終わらせて欲しい私の夢です。
堀越に住んでいて、知らない、知らない事を知ること、できなかった『堀越めぐり』のような行事を又、期待します。
林 寿

夜店は大いに繁盛

さみしい踊りの輪



長蛇の列に役員汗ダラダラ

八月十五日夜七時から盆踊り大会が、区民会館の庭で行なわれました。
庭の真ん中にやぐらが立ち、その回りで数人の人達が歌に合わせて踊り、その回りには公民館の役員の人達が企画をしたイカ、トウモロコシ、フランクフルト、焼き鳥、ビール、輪投、風船、金魚すくい等売られ、



ビール席のにぎやかさと……

みんなが喜んで飲んだり食べたり踊ったりして一夜を過ごしました。
しかし盆踊り大会なのに、実際には踊る人が少なく

踊りの輪が出来ず残念でした。その代り生ビール席では日頃集まる機会のない人達が、すっかり飲んで行ってくれて計画した者としては実にうれしく思いました。
あまり人が集まらず少し残念でしたので、来年からは盆踊り大会でなく、納涼大会で良いと言う声もあります。
色々な行事がこれからもあると思いますが、その時には、みんなで協力して盛大に行ないたいものだと思います。



きれいにできあがった花壇

寿生会では事業の一つとして年に三回の奉仕事業を行って居ります。その第一回として七月十六日、会員約五十名が出て区民会館、春日神社の除草清掃作業を行いました。

区との話が出来て、花壇用ブロックを買っていただき、花壇を作りサルビア約五十本、ケイトウ約七十本を植えました。
高温日照続きで管理も心配でしたが、熱心に管理して下さる方も居り、立派に活着しました。今から松茸観光の頃まできれいな花を咲かせて、皆の目を楽しませてくれることを願って居ります。

寿生会長 日下部 勝次

寿生会 区民会館の回りに花壇が

たところ、丁度黒谷線の道路端に植えた花の苗が余ったとの話を聞いたので、清掃奉仕作業と併せて花壇を作り、花を植えることにしました。

五分館だより10号発行

地域興しに紙面が貢献

分館報を発行しだして三年目。今回十号を数える事ができました。最初は思い付きで始めた事であり、どうなるかと思いましたが、皆さんの協力で今日に至りました。

今回は本館の公民館長さんに十号を記念して、感想を寄せて頂きました。



公民館長 大原 昭彦 氏

為に何をしようとしているかを、住民に知ってもらうことが最初の課題です。

五分館だよりが十号を迎えられる由、担当者の皆さんのご精励に心から喝采の拍手を贈ります。分館が住民のものと成るには、何の

事業に参加した人以外は、分館が何をしているのか判らないようでは、私達の分館という親しみは育ちません。ましてや分館活動で地域興しを、など絵に描いた餅に終わってしまいます。分

館報などで情宣活動に力を入れる訳はそのためです。

しかし分館報発行の実務は意欲あるスタッフの努力で足りるとして、担当の経費と労力を要します。役員に選任、経費の裏付けといった条件が整わない限り取り組みは無理です。この肝要な条件整備を御地区は見事



これだけ並ぶと歴史だなあ

に進めています。先進的な考えの区民、区政担当者の方々が、分館を地域活性化の拠点と位置づけ、物心両面の支援が約束されている体制は他地区の範であります。

さて既刊の各号を拝見し、



武田 伸洋 君 (幸義) 34才

元来、野山と川といった自然のあるところが好きで、私の生まれ育った兵庫県加古川市も子供の頃は、自然に恵まれた土地でした。

私が小学校の六年生の時です。今から二十二年位前になります。製鉄会社の誘致によって海が無くなりました。以来二十余年



武田 秀男 君 (久) 35才

私は、千葉県船橋市で生まれ、小学校二年生に進級と同時に市川市に引越して二十六年間市川市に住んでいました。

今年になって上垣外には、若い衆が何人も増えた事を皆さんも御存じでしょう。そこで、『開土』の秀男君と『葭ヶ沢』の伸洋君を紹介します。

ない土地の為、又仕事も変わり、最初の三ヶ月位は道もわからず、知っている人もいないので、ずいぶん苦労しました。

言葉は標準語に近いと思っていましたが、実際に仕事などで色々な人と接してみただ所でよく使う言葉は、『そうだに』『おくんなんしょ』『一人なのに』『みんなは』と言われた時には、後ろを振り返ってしまいました。

まだまだ堀越についてわからない事はばかりです。皆さんに教えて頂きながら、この土地に馴染んでいきたいと思えます。



お母さん達もいっしょにフォークダンス

子供夏祭り行なわれる 保育園児から中学生まで 広く交流を

八月八日に、堀越の子供の夏祭りがありました。

一ヶ月前から、日時・班編制・献立等を決めました。午後一時に区民会館に集合して、北小の体育館で中学生はバスケットボールをして、小学生はドッチボール

はの特質を盛り込んだ内容が区民に提供されているのはさすがです。又、個人やグループを登壇させ、紙面に親しみをもたせる工夫も素晴らしいと思います。

公民館長 大原 昭彦

広く交流を

ルやポートボールをしました。最後には、皆一緒にドッチボールをして大きな声と、汗……でいっぱいとなって、楽しく運動をしました。

天神グラウンドにて、飯盒炊さん、カレーライスとサラダを腹一杯食べました。次は、キャンプファイヤー、フォークダンスを回りでして、花火は保育園児から中学生まで手持ちのと仕掛のもの等をしました。

宮下 憲一

熱戦の中に地域の和 農休日球技大会

去る七月二十九日に農休日球技大会が天神グラウンドで行なわれた。この日は絶好のスポーツ日和となり、各競技とも熱戦が繰り広げられた。

ソフトボールでは去年準優勝の西部チームが古豪駒沢チームに準決勝で敗れ、決勝戦は、駒沢チームと順当にコマを進めてきた昨年の優勝チームの中宮一、二班チームの間で行われた。



駒沢・優勝してニコリ！

その結果、駒沢チームが優勝した。

インディアカでは、準決勝にコマを進めた中宮Aチーム、西部Bチーム、堂萱チーム、東Bチームで熱い戦いが行われ、中宮Aチームの優勝となった。

また、ゲートボールは七月二十二日に予選を勝ち抜いた四チームで決勝トーナメントが行なわれ、熱戦の末駒沢Aチームが優勝した。数々の試合の中では、珍プレー、好プレーなどが沢

山見られ、笑ったり、感心したり、拍手を送ったり、感激の涙もあり、数多くの思い出深い試合が出来たと思います。

部落によっては、選手集め等苦労もありますが、皆で楽しく一日を過ごし、地域内の交流を深め、応援、試合と一丸となって行えば最高の農休日球技大会になる事と思います。

これからも各種分館事業に御協力、御理解をいただき、行事が盛大に行なわれる様、よろしくお願い致します。

まとまりみせた三種目出場

分館対抗盆球技大会

毎年恒例のお盆の分館対抗の球技大会が、八月十五日に行なわれました。

にも手すりを付ければ歩きやすいのではとの要望も出ている。

今後より良い公園を作る為に、多くの意見・提案を具体的にどの様に進めていけば良いか、さまざまな分野での検討が必要であるう。



もう少し歩きやすければ

我第五分館チームは、ソフト・野球・バレーに各一チームずつ出場しました。ソフトは、昨年準優勝でしたので今年は二年ぶりの優勝をと望みました。平さんの攻守の活躍もありましたが、今年もあと一歩とどかず準優勝に終わりました。野球は、宮下君の完投等あり一回戦は突破しましたが、二回戦で惜敗。バレーについては、主婦代表の菅沼さんらの頑張等で、二戦共接戦でしたが、試合時間の関係上、応援団がいなかった分、最後のねばりもおしく、三位となりました。しかし、結果はともあれ

練習の成果 実った

少年ソフトボール大会

七月二十二日、猛暑の中市民グラウンドに於て、小学生の地区対抗ソフトボール大会が行われた。今回十三チームが出場、四ブロックに分かれ、まず第一戦河野北部に敗れ、二戦目伴野チームにみごと勝ち、三位の成績を納める事が出来た。

それに至るまでには子供達が計画を立て、全員で五月中旬より毎週土・日に二時間ずつ練習に励んで来た。特に六、七月の土曜二時からの練習は暑さと眠気で大変の様だった。又、指導してくれたお父さん、役員の皆さんに感謝します。

今後の為にも一ヶ月に一回は練習をしようと張り切っています。

忙しく暑い盆に三チーム共頑張ってくれました。分館役員として非常にありがたの一言でした。尚、各種目全部に出場した分館は、堀越と佐原だけという事で、大きな分館には出来ない、まとまりも感じました。

最後に無理を言って出場してもらった皆様、御苦労様でした。また来年も頑張ります。

黒谷箋

長かった夏休みがようやく終わり、やれやれと思っている親は私だけだろうか。大した雨も降らない毎日、更に子供の熱が一層暑さを感じさせていた。

休みには何故課題帳なる物があるのか。一研究と言う厄介な代物もある。仲間研究してもよし、自分で工夫して何か作るもよし、本を毎日読んでもいい。何か一つやったと言えがいいんですヨと先生は言うが、さて何をすればいいのかが子供にはわからない。かつてこの自由研究に泣かされた親であるから、大して力になれそうもない。新たに一年を加え、心配の種が余計にふえた。なにしろ男の子で、毎日虫取りに励んでいた。特にあぶらぜみは圧倒的で七年後はせみの鳴き声も静かになりそう。今年には姉達の宿題も遅れた。よく考えてみたら、どうも一年の子の遊びにつられてしまったのだと結果が出た。課題帳は無し。勉強は子供の意欲次第。毎日プールで真黒になり、いっぱい虫取りをするのも子供の貴重な体験だ。そうなれば休みがもっと楽しく過ごせそう。

米山喜美子